

持続可能な地域の森林資源の利用：富山県の挑戦

日時：2024年3月21日（木）14：00-17：40

会場：富山国際会議場 2階201-202号室

主催：富山大学研究推進機構サステナビリティ国際研究センター（GRASS）

後援：富山県

本シンポジウムは、県民のみなさんに開かれたシンポジウムです。事前予約なしに、どなたでも参加できます。



森林は、炭素を固定して気候変動を抑制する機能を有するだけでなく、固定された炭素は木材あるいは木質バイオマスとして我々に資源を供給し、その資源利用のされ方によっては気候変動を助長してしまうこともあります。北東アジア地域における森林資源の持続的利用は、カーボンニュートラルな社会の構築や資源循環型・環境保全型の経済活動を行う上で極めて重要です。森林は、様々な生態系サービスを我々に提供しています。このシンポジウムでは、富山県の資源循環型・環境保全型森林利用を考える富山県の民間の挑戦について考え、地域資源を活用した森林資源利用のあり方について座談します。

お問い合わせ先

富山大学サステナビリティ国際研究センター
谷口奈那

076-445-6510

E-mail: tnana@ctg.u-toyama.ac.jp

14：00-14：10 開会のご挨拶

和田直也（GRASS）

14：10-15：30 【基調講演】

立花 敏（筑波大学）

東アジア地域における森林資源の管理と活用：
持続可能な社会に向けて

Avtar Ram（北海道大学）

リモートセンシングとGISを用いた低炭素経済
のためのバイオマスエネルギーポテンシャルの
推定（英語講演（通訳有り））

15：45-17：15 【パネルディスカッション】

森林資源利用：富山県の挑戦

パネリスト

福村仁志（南砺森林資源利用協同組合）

川森 清（株式会社JAPANS）

加治幸大（株式会社グリーンエネルギー北陸）

17：15-17：35 【総括研究報告】

チャクラボルティ・シャミック（GRASS）

17：35-17：40 閉会のご挨拶